

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年10月8日
【四半期会計期間】	第18期第2四半期（自平成25年6月1日至平成25年8月31日）
【会社名】	株式会社イオンファンタジー
【英訳名】	AEON Fantasy Co.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 片岡 尚
【本店の所在の場所】	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1
【電話番号】	043(212)6203(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 管理統括兼リスクマネジメント担当 新田 悟
【最寄りの連絡場所】	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1
【電話番号】	043(212)6203(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 管理統括兼リスクマネジメント担当 新田 悟
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第17期 第2四半期 連結累計期間	第18期 第2四半期 連結累計期間	第17期
会計期間	自平成24年2月21日 至平成24年8月20日	自平成25年3月1日 至平成25年8月31日	自平成24年2月21日 至平成25年2月28日
売上高(千円)	21,912,208	23,969,308	44,868,284
経常利益(千円)	1,587,206	1,686,456	3,490,870
四半期(当期)純利益(千円)	738,273	822,171	1,535,908
四半期包括利益又は包括利益(千円)	705,027	915,210	1,851,823
純資産額(千円)	18,841,551	20,382,985	19,988,137
総資産額(千円)	26,602,415	28,375,682	26,684,437
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	40.71	45.32	84.71
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額(円)	40.60	45.18	84.46
自己資本比率(%)	69.8	70.7	73.7
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	1,263,145	1,204,340	6,152,118
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	154,436	1,556,185	5,672,874
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	579,689	548,010	580,233
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	5,783,299	5,131,543	5,250,053

回次	第17期 第2四半期 連結会計期間	第18期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年5月21日 至平成24年8月20日	自平成25年6月1日 至平成25年8月31日
1株当たり四半期純利益金額(円)	25.86	37.12

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間は、当社グループの絶対的なプレゼンスの確立に向け、「Mollyfantasy」（モーリーファンタジー）ブランドの訴求に注力するとともに、更なる成長に向けた国内外での新規出店が21店舗と過去最多となる等、積極的な拡大策を進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高239億69百万円（前年同期比109.4%）、営業利益16億56百万円（同104.7%）、経常利益16億86百万円（同106.3%）、四半期純利益8億22百万円（同111.4%）となりました。

(国内事業)

国内事業は、モーリーファンタジーブランドの訴求策の一環として複数存在する店舗屋号を「Mollyfantasy」へ一本化しており、随時、店舗活性化と同時に進めております。10月末までに全店舗の屋号が「Mollyfantasy」に統一される予定です。

また、遊戯機械においては昨年から進めているオリジナル遊具開発の拡大を行い当第2四半期連結会計期間末現在7機種となり、幼児コーナーの中核を構成する人気の遊具となっております。一方、低単価で投資効率の高い海外からの遊戯機械調達を拡大させており、直近では遊戯機械調達の10%程度が海外調達となりました。このような海外調達やオリジナル遊具の拡大はこれまで以上に競合他社の差別化につながっております。

新規出店は5店舗となり、当第2四半期連結会計期間末における直営店舗数は321店舗となりました。国内事業の業績は売上高230億円（前年同期比107.3%）、セグメント利益18億62百万円（同108.8%）となりました。

(海外事業)

海外事業については、今後の利益の最大化に向けた先行投資を進めてまいりました。当第2四半期累計期間の新規出店は、中国9店舗（同会計期間末店舗数19）、マレーシア7店舗（同会計期間末店舗数34）となり、地元有力ディベロッパーを中心に出店拡大を進めております。

業績については、中国、マレーシア、タイいずれも順調に推移しております。中でも中国は、当第2四半期連結累計期間の既存店売上伸び率は24.6%増と極めて好調な結果となりました。これは当社グループ店舗の認知度の向上にともなう客数の増加に加え、遊戯機械の品揃えにおいて新たなカテゴリーを加えたことが現地のお客さまから高い支持を頂いた結果と考えております。

この海外事業の業績は、売上高9億69百万円（前年同期比201.9%）、セグメント損失2億6百万円（前年同期セグメント損失1億30百万円）となりました。

財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、124億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億74百万円減少いたしました。主な内訳は、当第2四半期会計期間末日が金融機関の休日のため、売上預け金のうち26億6百万円が翌営業日に決済されたことや夏休み期間中の売上金の増加による売上預け金の増加(40億76百万円)、新店及び既存店活性化投資に伴う資金需要の増加による関係会社寄託金の減少(50億円)であります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、159億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億65百万円増加いたしました。主な内訳は、当社グループ21店舗の新規出店、人気体感ゲーム機や当社グループオリジナル遊具導入等の店舗活性化による遊戯機械の増加（21億78百万円）であります。

この結果、総資産は283億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億91百万円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、76億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億64百万円増加いたしました。主な内訳は、設備投資に伴う設備関係支払手形の増加（14億34百万円）であります。

この結果、負債合計は79億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億96百万円増加いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、203億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億94百万円増加いたしました。主な内訳は、四半期純利益の計上（8億22百万円）や剰余金の配当による減少（5億44百万円）であります。

経営成績の分析

（売上高）

売上高は239億69百万円となりました。その部門別内訳は、遊戯機械売上高179億75百万円、商品売上高59億7百万円、委託売上高80百万円、その他5百万円であります。人気カードゲーム機が好調に推移し、海外店舗数の拡大や決算日変更に伴う夏休み期間の増加により前年同期より20億57百万円増加いたしました。

（売上原価）

売上原価は208億35百万円となり、前年同期より18億95百万円増加いたしました。当社グループの新店及び既存店活性化投資に伴う減価償却費や売上増加に伴う地代家賃等の増加、好調なカードゲーム機等の仕入原価の増加によるものであります。

（販売費及び一般管理費）

販売費及び一般管理費は14億77百万円となり、前年同期より86百万円増加いたしました。

（営業外収益及び営業外費用）

営業外収益は49百万円となり、前年同期より16百万円増加いたしました。営業外費用は19百万円となり、前年同期より8百万円減少いたしました。主な理由は為替差損益であります。

（特別損失）

特別損失は49百万円となりました。主な内訳は閉店の意思決定に伴う店舗閉鎖損失及び減損損失等の計上によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、売上預け金の増加及び有形固定資産の支出等の要因により一部相殺されたものの、関係会社寄託金の減少及び税金等調整前四半期純利益を計上したことにより、当連結会計期間末には51億31百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果、減少した資金は12億4百万円（前年同期は12億63百万円の増加）となりました。その主な内訳は、当第2四半期会計期間末日が金融機関の休日のため翌営業日に決済となったこと等による売上預け金の増加40億73百万円及び法人税等の支払13億24百万円などの資金の減少と、税金等調整前四半期純利益16億36百万円及び減価償却費23億73百万円の計上による資金の増加であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果、増加した資金は15億56百万円（前年同期は1億54百万円の減少）となりました。その主な内訳は、新店及び既存店活性化に伴い関係会社寄託金50億円を回収したことによる資金の増加、当社グループの国内外における新店の増加や設備投資による有形固定資産の取得による支出34億9百万円であり、

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果、減少した資金は5億48百万円（前年同期比94.5%）となりました。その主な内訳は、配当金の支払であります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	50,000,000
計	50,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年10月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	18,175,688	18,175,688	株式会社東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式 数 100株
計	18,175,688	18,175,688	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減 額(千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年6月1日～ 平成25年8月31日	-	18,175,688	-	1,747,139	-	1,650,139

(6) 【大株主の状況】

平成25年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
イオン株式会社	千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目5-1	11,373	62.58
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	610	3.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	605	3.33
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-12 晴海アイランドトリトンスクエアオ フィスタワーZ棟	496	2.73
ザバンクオブニューヨークメロ ンアズエージェンツピーエヌワイ エムエイエスイーエイダッチ ペンションオムニバス14001 6 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決 済営業部)	THE BANK OF NEW YORK MELLON ONE WALL STREET NEW YORK, NY 10286 U.S.A (東京都中央区月島4丁目16-1 3)	186	1.03
マックスバリュ西日本株式会社	広島県広島市南区段原南1丁目3-52	114	0.63
ミニストップ株式会社	東京都千代田区神田錦町1丁目1番地	114	0.63
イオンフィナンシャルサービス株式会社	東京都千代田区神田錦町1丁目1	114	0.63
イオンモール株式会社	千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目5-1	114	0.63
イオン九州株式会社	福岡県福岡市博多区博多駅南2丁目9-11	114	0.63
計	-	13,846	76.18

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 37,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 18,054,000	180,540	-
単元未満株式	普通株式 84,588	-	-
発行済株式総数	18,175,688	-	-
総株主の議決権	-	180,540	-

【自己株式等】

平成25年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所 有株式数 (株)	他人名義所 有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
株式会社イオン ファンタジー	千葉県美浜区中瀬 一丁目5番地1	37,100		37,100	0.20
計	-	37,100		37,100	0.20

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,250,053	5,131,543
売上預け金	^{1, 2} 150,090	^{1, 2} 4,226,705
たな卸資産	³ 871,214	³ 1,021,167
関係会社寄託金	⁴ 6,000,000	⁴ 1,000,000
その他	1,128,572	1,046,395
流動資産合計	13,399,930	12,425,811
固定資産		
有形固定資産		
遊戯機械(純額)	7,061,505	9,239,525
その他(純額)	2,261,356	2,832,944
有形固定資産合計	9,322,862	12,072,470
無形固定資産		
のれん	1,087,499	947,150
その他	144,130	95,896
無形固定資産合計	1,231,629	1,043,046
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	2,030,212	2,089,306
その他	⁵ 699,802	⁵ 745,047
投資その他の資産合計	2,730,015	2,834,354
固定資産合計	13,284,507	15,949,871
資産合計	26,684,437	28,375,682
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,295,706	1,291,251
未払費用	787,845	1,367,124
未払法人税等	1,404,100	732,292
賞与引当金	203,764	207,289
役員業績報酬引当金	50,996	24,508
設備関係支払手形	1,559,468	2,994,141
閉店損失引当金	1,025	2,251
その他	1,130,281	1,078,527
流動負債合計	6,433,190	7,697,387
固定負債		
退職給付引当金	19,598	28,626
資産除去債務	195,219	205,690
その他	48,291	60,992
固定負債合計	263,109	295,309
負債合計	6,696,300	7,992,697

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,747,139	1,747,139
資本剰余金	1,714,979	1,711,086
利益剰余金	16,057,172	16,335,327
自己株式	66,815	59,389
株主資本合計	19,452,476	19,734,162
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,491	13,276
為替換算調整勘定	212,418	301,942
その他の包括利益累計額合計	221,909	315,218
新株予約権	43,343	67,150
少数株主持分	270,407	266,453
純資産合計	19,988,137	20,382,985
負債純資産合計	26,684,437	28,375,682

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 2月21日 至 平成24年 8月20日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 3月 1日 至 平成25年 8月31日)
売上高	21,912,208	23,969,308
売上原価	18,939,340	20,835,169
売上総利益	2,972,868	3,134,139
販売費及び一般管理費	1,391,326	1,477,818
営業利益	1,581,542	1,656,321
営業外収益		
受取利息	10,716	6,914
為替差益	-	16,704
機械仕入割戻	8,146	13,778
その他	14,017	11,799
営業外収益合計	32,880	49,196
営業外費用		
為替差損	11,192	-
固定資産売却損	11,715	16,696
その他	4,308	2,365
営業外費用合計	27,216	19,062
経常利益	1,587,206	1,686,456
特別損失		
閉店損失引当金繰入額	11,421	2,134
減損損失	8,569	29,815
店舗閉鎖損失	-	17,701
特別損失合計	19,990	49,651
税金等調整前四半期純利益	1,567,216	1,636,804
法人税、住民税及び事業税	970,989	653,475
法人税等調整額	142,327	160,409
法人税等合計	828,661	813,884
少数株主損益調整前四半期純利益	738,554	822,920
少数株主利益	280	748
四半期純利益	738,273	822,171

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	738,554	822,920
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	3,784
為替換算調整勘定	33,527	88,505
その他の包括利益合計	33,527	92,290
四半期包括利益	705,027	915,210
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	713,547	915,498
少数株主に係る四半期包括利益	8,520	287

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,567,216	1,636,804
減価償却費	1,931,443	2,373,534
固定資産除売却損益(は益)	79,622	69,783
賞与引当金の増減額(は減少)	13,493	2,109
受取利息	10,716	6,914
減損損失	8,569	29,815
売上預け金の増減額(は増加)	1,563,725	4,073,575
たな卸資産の増減額(は増加)	144,005	149,470
仕入債務の増減額(は減少)	423,708	2,768
その他	32,463	231,344
小計	2,246,155	110,662
利息の受取額	11,969	9,748
法人税等の支払額	994,978	1,324,751
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,263,145	1,204,340
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	2,032,963	3,409,793
有形固定資産の売却による収入	35,288	13,840
無形固定資産の取得による支出	24,640	18,648
長期前払費用の増加による支出	10,181	24,482
敷金及び保証金の差入による支出	52,676	100,349
敷金及び保証金の回収による収入	39,055	96,810
関係会社寄託金の純増減額(は増加)	2,000,000	5,000,000
その他	108,319	1,192
投資活動によるキャッシュ・フロー	154,436	1,556,185
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	579,691	543,920
少数株主への配当金の支払額	-	3,683
その他	1	406
財務活動によるキャッシュ・フロー	579,689	548,010
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,373	77,656
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	532,392	118,509
現金及び現金同等物の期首残高	4,326,947	5,250,053
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	923,959	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,783,299	5,131,543

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

(1) 連結の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 売上預け金

ショッピングセンターの店舗賃貸人に預けている売上代金であります。

2. 四半期会計期間末日が休日のため増加した主な資産

当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日のため、下記の科目に含まれている翌営業日に決済される金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
売上預け金	- 千円	2,606,844千円

3. たな卸資産の内訳は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
商品	526,077千円	665,538千円
貯蔵品	345,136千円	355,628千円

4. 関係会社寄託金

余剰資金の有効活用を目的としてイオン株式会社との間で金銭消費寄託契約を締結しており、当該契約による寄託金であります。

5. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
投資その他の資産	- 千円	2,702千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
従業員給料及び賞与	450,328千円	473,646千円
賞与引当金繰入額	47,677千円	56,507千円
役員業績報酬引当金繰入額	21,241千円	24,508千円
退職給付費用	32,118千円	25,528千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
現金及び預金勘定	5,883,299千円	5,131,543千円
預入期間が3か月を超える定期預金	100,000千円	- 千円
現金及び現金同等物	5,783,299千円	5,131,543千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)

1. 配当金支払額

平成24年4月5日の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	580,143千円
1株当たり配当額	32円
基準日	平成24年2月20日
効力発生日	平成24年4月24日
配当の原資	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)

1. 配当金支払額

平成25年4月16日の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	544,017千円
1株当たり配当額	30円
基準日	平成25年2月28日
効力発生日	平成25年5月8日
配当の原資	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

平成25年10月2日の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	272,078千円
1株当たり配当額	15円
基準日	平成25年8月31日
効力発生日	平成25年10月30日
配当の原資	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,432,270	479,938	21,912,208	-	21,912,208
セグメント間の内部売上 高又は振替高	11,188	-	11,188	11,188	-
計	21,443,459	479,938	21,923,397	11,188	21,912,208
セグメント利益又は損失()	1,711,846	130,303	1,581,542	-	1,581,542

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自平成25年3月1日 至平成25年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,000,098	969,210	23,969,308	-	23,969,308
セグメント間の内部売上 高又は振替高	15,295	-	15,295	15,295	-
計	23,015,394	969,210	23,984,604	15,295	23,969,308
セグメント利益又は損失（ ）	1,862,694	206,373	1,656,321	-	1,656,321

（注）1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 （自平成24年2月21日 至平成24年8月20日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成25年3月1日 至平成25年8月31日）
(1) 1株当たり四半期純利益金額	40円71銭	45円32銭
（算定上の基礎）		
四半期純利益金額（千円）	738,273	822,171
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額（千円）	738,273	822,171
普通株式の期中平均株式数（株）	18,130,509	18,137,902
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	40円60銭	45円18銭
（算定上の基礎）		
四半期純利益調整額（千円）	-	-
（うち支払利息（税額相当額控除後） （千円））	-	-
普通株式増加数（株）	51,351	58,284
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

2【その他】

（剰余金の配当）

第18期（平成25年3月1日から平成26年2月28日まで）中間配当については、平成25年10月2日に、平成25年8月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを取締役会決議しました。

- | | |
|-----------------------|-------------|
| (1) 配当金の総額 | 272百万円 |
| (2) 1株当たりの金額 | 15円00銭 |
| (3) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 | 平成25年10月30日 |

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月1日

株式会社イオンファンタジー
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 陸田 雅彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 渡辺 雅子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社イオンファンタジーの平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社イオンファンタジー及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1.上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2.四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。